

「令和3年度熊本大学障がい学生支援室FD・SD講演会」アンケート集計結果

令和3年11月30日現在

参加者 56名 (学内教職員 38名 学生 3名 学外 15名 / 対面 21名 オンライン 35名)  
アンケート回答者 23名

1. 所属について、当てはまるものをお選びください。

①教員	4
②事務職員	14
③専門職	4
④その他	1

2. 今回の講演会の内容について、当てはまるものをお選びください。

①大変有意義	20
②有意義	3
③普通	0
④あまり有意義でない	0
⑤有意義でない	0

3. 今回の講演会の内容について、ご感想やご意見をご自由にご記入ください。

- ・大変参考になりました。
- ・大くのことを学ばせていただきました。特に「目的」と「手段」を切り分ける、整理する、そして「目的」を達成するための「手段」を考える（行う）という点が重要と理解できました。
- ・「合理的配慮」の本質とは何かを知ることができた。
- ・貴重なお話が聴くことができたと思います。
- ・勉強になりました。
- ・合理的配慮の意味がよくわかりました。
- ・合理的配慮について、個別具体的なものであることが理解できた。
- ・合理的配慮の内容の決定の手順について、理解が深まった。
- ・合理的配慮への理解が深まりました。
- ・非常に分かり易い説明であり、今後の業務に役立つものになった。ありがとうございました。
- ・合理的配慮のことがよく説明されていて良かった。
- ・合理的配慮について改めて勉強になった。
- ・歴史的背景なども含まれており、とても納得ができました。
- ・質問が出てよかった。
- ・基本的な学びができました。

- ・難しい内容を分かりやすくご講演いただきましてありがとうございました。合理的配慮は、個別・具体的に検討して提供することが大切。学内の体制や理解を、障がい学生支援は今後増えることを基本とした体制が求められる。
- ・今回改めて合理的配慮について考える機会となりました。単純に配慮といっても事前予防と個別具体的なものがあることを知りました。
- ・もっと実例を聞きたかったです。行政支援や小中高校での支援内容等。
- ・合理的配慮について、いろいろと教えて頂き理解が深まりました。
- ・大変わかりやすく、勉強になりました。

4. **今回の講演会の開催方法（対面とオンラインのハイブリット開催）について、ご感想やご意見をご自由にご記入ください。**

- ・こういった参加方法でも対応出来る良い方法だと思いました。参考にしたいと思います。
- ・ポストコロナとなっても、さまざまな参加希望者の利便性を考えればハイブリットで行うのがよいと考えます。
- ・業務の都合で、対面参加できない場合もあるので効果はあったと思います。
- ・スクリーンへの字幕等対応したのが良かったと思いました。
- ・オンラインのみの開催でも良いと思いました。
- ・とてもいい開催方法だと思いました。
- ・ハイブリット開催がベストではないかと思う。無理に対面で出席する必要もないので。
- ・とても良かったと思う。
- ・オンラインも取り入れた事で、参加のハードルが下がって、多くの人に参加できるようになったのでは。
- ・選択できるのでいいと思います。
- ・やはり対面もあった方が良い。
- ・手元でタブレットを見ながら、会場にいました。とても見やすい画面構成に感服しました。
- ・対面で、参加させて頂き、誠にありがとうございました。
- ・両方あった方が都合がよい。
- ・オンラインで快適に視聴させていただきました。移動時間が無く、集中して視聴することができました。対面でお聞きできるのが一番良いと思いますが、対面とオンライン両方あると、状況によって参加方法を選ぶことができるのが有難いです。
- ・コロナ禍でもありハイブリット開催していただいてよかったです。
- ・業務の都合上、対面での参加は難しいのでオンラインで参加することが出来てよかったです。また、事前の資料配布も助かりました。
- ・参加しやすく良かったです。

5. **今後、希望するテーマ等がありましたらご記入ください。**

- ・医療的ケアや最重度のしょうがい学生の受け入れ、学内体制の整備・調整について
- ・「発達障がい」や「精神障がい」ではないかと思われる学生がいると思った（気づいた）時

の対応について、とりわけ個人情報保護との関係性について。

- ・精神疾患への対応、村田先生にお願いしたいです。
- ・合理的配慮の具体例の紹介。
- ・合理的配慮の講習会の行いかたについて。

6. **その他、ご意見ご感想がありましたらご記入ください。**

- ・ありがとうございました。
- ・また、参加したいです。
- ・貴重な講演をありがとうございました。
- ・熊本大学様の取組みで、「共に学ぶ」というご説明の中で、各部署が協力して出来上がった机の写真を見て、なんだかとても、心がじんときまりました。多くの人の協力や思いを経てそれが自然に行われている風景が目には浮かびました。「特別から当たり前へ」を実践されていることが藤本先生のご説明から伝わってきました。字幕表示も講演者の話されるスピードによく対応されていて、素晴らしいと思いました。
- ・ありがとうございました。